



『魔法の右手』（1月10日）を振り返って・・・

<みんなの感想より>

- 加藤さんの決して諦めない心が世界中で困っている人の笑顔をつくったんだと思いました。プライドというものは、時には、自分のためだけでなく、人のためにもなるんだと思いました。（男子）
- 今僕たちは両手で不自由を感じずに生活しているけど、世の中には手を失ったりして不自由な方もいると思います。そういう人たちが不自由なく生活できるように発明された道具には、すごく思いが込められていると思うし、身の回りにある一つ一つの物には、製造される前に色々な物語があるんだろうなと思った。（男子）
- 挑戦しない事には何も始まらない、何も変わらないということがあらためて分かりました。行動する前から出来ないとかきめるのは技術者ではない、と加藤さんは言っていましたが、それは技術者に限ったことではなく、自分たちの生活でもそうだと感じました。（女子）
- 慣れない左手での作業の中で、その左手も気遣いながら出来るのはすごいと思った。加藤さんの技術やとしてのプライドやあきらめない気持ちが、「できない世界」から「できる世界」に変えたんだと思った。（男子）
- 自分の技術で周りの人、どこかが不自由な人の当たり前を取り戻してあげることができるのは、右手が不自由だからこそ、その痛みや苦しみを知っている加藤さんにしかできないんだと思った。（女子）
- 加藤さんのように諦めないことはとても大切だと思った。どんなに苦しい時でも目標を達成しようという気持ちが背中を押すんだと思った。自分のこれからの生活や部活動にも生きると思うので、意識してやってみたいと思った。（男子）
- 右手が無くなって、加藤さんと妻だけで考え、そして作っていてすごいと思いました。3年間にわたる自分の努力は、他の人にも、何より自分の心を明るくしていると思いました。今はめんどくさいけどずっと努力していたら必ず自分の自信、そして笑顔が生まれると思います。なので自分も頑張り、仲間と共に未来・目標に向かいたいです。（女子）
- ぼくは、今日の授業を聞いて、感じたことは、多くの人から無理だと言われてきたけどあきらめずに自分の夢を果たして、多くの人を笑顔にしたのがすごいと思った。ぼくも、無理だと思わずにあきらめないでいろんなことをなしとげていきたい。（男子）
- 自分で実践することで、また新しいものがつかめたり、発見できたりする喜びがあると分かりました。当たり前ができる日常に感謝したいです。（女子）
- 一つの事故から、自助具だけではなく、根気と努力など目に見えない喜びがたくさん生まれたんだなと思うと、自分もうれしく思った。自分も加藤さんのような根気強さやあきらめないという気持ちをもっていろんなことに挑戦していきたいなと思った。（男子）

事故で手が不自由になってしまった人が、以前のように笑顔で料理をする…一度は使えなくなった手でお箸を持ち、ご飯を味わって食べる…これは、『魔法の右手』を持つ技術者の加藤源重さんの強い思いと行動によってもたらされたことでした。工場で機械のメンテナンスをしている時に不運な事故に遭い、医者からも“諦める”（手を切断する）べきだと宣告された加藤さんが、試行錯誤の末に発明した物は、自身だけでなく、多くの困りを抱えた人の人生までもを変えていきました。加藤さんの前向きでひたむきな姿勢、そしてその右手が握んだもの…。一言では言えそうにないですね。